

令和5年度 島根中央高等学校 学校評価報告書

【4段階評価】 A：十分達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：全く不十分

【評価の数値（%）＝総数における肯定的意見（4・3）の割合 *（0）わからないは除く 4：そう思う 3：まあそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない 0：わからない】

目指す生徒像	学校評価項目	保護者評価	生徒評価	自己評価	概要と今後の改善策	学校関係者評価
「自立」 自分で調べ、考え、判断して行動する	自分で調べたり、考えたり、判断して行動することができますか。	91	95	B	<ul style="list-style-type: none"> ・未習得部分を個別配信でき、また、英語検定・簿記検定等の補助教材としてのオンライン学習サービスの有効活用により、家庭学習時間の増加や学習意欲の向上を図りたい。 ・図書館に関わる評価は比較的高いので、さらに運営について工夫をし読書意欲の喚起を図りたい。出張図書館など企画し、なかなか本を探す時間がない生徒にも手に取ってもらう機会を作りたい。 ・探究活動について、昨年度に比べ多くの教員が関わりながら活動を展開しており、内容的にも手探りながら個人探究や地域探究など新たな試みもあった。3年間を見通した活動内容の確立をすすめ、それを実行するための校内体制をコーディネーターとの役割分担を含め整理したい。 	B
	あなたは、授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行うことができましたか。		88			
	寮生活を通して、規則を守り、身の回りのことを自分でできるようになりましたか。	100	94			
「共生」 人と対話し、知恵と思いを共有する	他の人と対話をして、考えや思いを共有することができますか。	89	93	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域活動に参加した生徒が増加している。今後も主体的に地域に関わり、貢献する気持ちを育てたい。 ・共同作業の自己評価があまり高くない。学校の授業についての評価は高いので、グループワークなどの共同作業で自己肯定感を感じられるように授業内容の検討などを考えていきたい。 ・地域との協働や寮生の生活支援について、担任や部活動顧問の協力を得てやっていきたい。 ・寮における生徒による自治が進んだことにより、生徒評価における寮生活を通して対話や協力して生活できるよう力が向上している。 	B
	生徒との対話を大切にすることができていると思えますか。	85	89			
	あなたは、共同作業だと自分の力が発揮できますか。		79			
	寮生活を通して、人と対話し、協力して生活できるようになりましたか。	98	97			
「挑戦」 最良の未来に向け、困難に立ち向かう	難しいことにも立ち向かうことができますか。	82	88	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の部活動入部率は93.1%、あそらボなど校外活動を含め延べ数で100%を超える結果となった。 ・多くの生徒が主導で行えた活動が増えた。今後も生徒が活躍できる場を増やしていきたい。 ・学校行事等の運営に早い段階から生徒が主体となるように進めていきたい。 	B
	あなたは、うまくいくか分からないことにも意欲的に取り組んでいますか。		83			
上記以外で評価を求めたい項目	本校は、健康的で安心・安全な学校生活を送ることができる環境整備、支援体制を整えていると思えますか。	85	83	B	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の不調のある生徒について、人数は昨年度より増加したが、担任・保健部・生徒指導部・寮務担当・部活動顧問・特別支援コーディネーターと情報共有や協議をに対応することができた。また、外部専門家による支援を行うことができた。 ・教員の欠員や感染症による課題対応に苦慮する場面もあったが、オンライン学習サービスの活用など工夫しながら学校運営を行った。 ・進路に関する情報提供・相談体制ができている評価を得ている。「進路だより」を充実させ、生徒だけでなく保護者への進路情報の提供を充実させたい。 ・学校行事や生徒の活躍の記事は、頻繁に掲載することができよかった。 	B
	本校の授業は、学力や技能の向上に結びついていると思えますか。	80	91			
	本校は、進路選択において必要な情報提供や教職員の指導相談体制ができていると思えますか。	80	90			
	本校に進学して成長できていると思えますか。	98	91			